

平成31年度 庄内自然博物館構想推進協議会 議事概要

日時：平成31年4月19日（金）10：00～11：40

場所：鶴岡市自然学習交流館ほとりあ

… 次第 …

1. 開 会

2. 協 議

- (1) 協議会役員の選任について
- (2) 平成30年度事業実績について
- (3) 平成30年度収支決算について
- (4) 平成31年度庄内自然博物館構想推進協議会の体制（案）について
- (5) 平成31年度事業計画（案）について
- (6) 平成31年度収支予算（案）について
- (7) 大山上池・下池の水質改善について
- (8) その他

3. その他

- (1) 高館山散策路について（情報共有）
- (2) その他

4. 閉 会

◇◇◇ 議事概要（質疑応答） ◇◇◇

2. 協 議

(1) 協議会役員を選任について

事務局より、会長、副会長、監事、顧問及び相談役に以下の方を提案する。

会 長 大山自治会長 櫻井修治

副会長 西郷自治会長 佐藤健三

尾浦の自然を守る会 会長 太田威

監 事 大山観光協会 会長 遠藤武

西郷土地改良区 理事長 佐藤保

顧 問 庄内自然博物館構想推進協議会 前会長 橋本正輝

鶴岡市自然学習交流館ほとりあ 前館長 遠見正圀

相談役 庄内自然博物館（仮称）構想地域推進協議会

元会長 中浜裕

鶴岡市自然学習交流館ほとりあ 元館長 植松芳平

…承認…

(2) 平成30年度事業実績について

事務局より説明

…質疑なし、承認…

(3) 平成30年度収支決算について

事務局より説明

…質疑…

○大山上池・下池プロモーションビデオ制作時にドローンを借りるのにいくらくらい支払ったか。

事務局→三瀬のフレームワークス写真事務所に約135,000円程度支払った。地元の自然保全活動に協力するというご厚意から安い価格となっている。

○環境保全応援寄附金の支出内のラムサール10周年事業の内訳は。

事務局→内訳は、記念Tシャツ作成に約19,000円、PV編集謝礼に約5,000円、切手に約1,000円である。

…承認…

(4) 平成31年度庄内自然博物館構想推進協議会の体制（案）について
事務局より説明

…質疑なし、承認…

(5) 平成31年度事業計画（案）について
事務局より説明

…質疑…

○大山上池・下池の四季（春：桜、冬：白鳥等）をドローンで撮影するのはどうか。

事務局→昨年度実施した大山上池・下池プロモーションビデオ制作時に四季を撮影しているが、桜の時期は飛ばせていない。大山上池・下池プロモーションビデオはYouTubeでも公開しているため、大山観光協会においてもHPでのPR等をお願いできればと考えている。なお今年度、今から桜の撮影をするのは難しい。

…意見…

○ドローンはブナの芽吹き等を撮影するのに効率がいいと思う。鶴岡市自然学習交流館ほとりあのサークル活動等やサポーターを活用して、ドローンクラブを組織することも有意義だと考える。

またドローンでの撮影に関連して、先日観光客なのか外国人が大山下池でドローン撮影をしていたのを見た。野鳥のすぐそばまでドローンを飛ばしており、野鳥に対して配慮する（配慮をお願いする）対策について、至急ではないが検討する必要があるのではないかと感じた。

…承認…

(6) 平成30年度収支予算（案）について
事務局より説明

…質疑…

- 平成31年度セブン-イレブン記念財団環境市民助成の支出内のデジタル顕微鏡等を購入する備品費について、予算額ではTV等につなげて複数人でみるタイプのデジタル顕微鏡を購入することは難しいのではないかと。同タイプを検討してほしい。
事務局→本申請にあたっては見積を徴集しており、同タイプの購入を検討している。

…承認…

(7) 大山上池・下池の水質改善について

事務局より説明

以下のとおり、事務局より補足あり。

大山上池・下池の水質改善については、山形大学農学部へ委託している水質調査の結果を協議会でも改めて共有し、課題の洗い出し、対策を検討していくことが重要。人手や資金が必要な対策もあるが、実行可能な対策から始めていきたい。農業用水の利活用がなくなったこと等も富栄養化の要因にあるが、「活用することによる保全」のあり方を見直す必要がある。大山上池・下池の活用についてみんなで考え、主体的に活動できるグループ・団体等が育ち取り組んでいければと思う。

…質疑なし、承認…

(8) その他

…質疑なし、承認…

3. その他

(1) 高館山散策路について（情報共有）

【オブザーバー 鶴岡市観光物産課より情報共有】

○高館山散策路に関係する平成30年度事業として、散策路を巡視する巡視員（1名委託）、サポーターによる遊歩道の巡回活動を実施した。具体的な巡回活動として、動植物の自然愛護、通行環境の整備（ごみ拾い、倒木の除去）、危険個所の点検である。公衆トイレ2カ所（山頂、遊歩道隣接）の清掃作業も実施した。

倒木の除去は、巡視員やサポーター等からの通報により対応している。コースによって、倒木の除去する管轄が異なっている（庄内森林管理署、鶴岡市土木課、本協議会等）。

コースの下刈りは、市道については土木課、イベントで使用するコースについてはスポーツ課等で対応している。大山小学校は高館山全校登山を実施しており、全校登山前に大山小学校教員と保護者会で下刈りを実施している。この際に貴重な植物を刈らないように必要最低限で対応するように指導している。

【庄内森林管理署 伊東森林技術指導官より情報共有】

○高館山散策路に係る平成30年度事業として、松くい虫被害がある木の燻蒸処理を実施した。旧加茂トンネル付近の分収造林1.2ha（杉）を間伐している。令和2年度（2020年度）に植栽予定。

笹・チャボガヤ等が繁茂したため、平成30年11月に試験的に伐採も実施した。今年度に入って、現地でカタクリを確認できた。プロット内の植物の確認等、出羽三山の自然を守る会 長南氏や水野野生生物調査室 水野氏には引き続き協力願いたい。

また5/1より皇太子殿下御即位記念分収造林を実施するので協力願いたい。

→（櫻井会長）高館山自然休養林保護管理協議会は例年5月中旬に開催している。本協議会も協力していければと考える。

（2）その他

○大山上池・下池ラムサール条約登録湿地10年記念事業は終わったが、令和4年度（2022年度）には鶴岡市自然学習交流館ほとりあが開館10周年を迎える。開館10周年記念事業の一環として、本協議会事業をチェックする機会があってもいいと思う。ほとりあをどうするか、周辺環境も含めて次のステップで確認する必要があるのではないか。

→（櫻井会長）みんなで協力していきたい。

○次の4つのことが気になっている。

①ほとりあ開館10周年記念事業をどうするか。

②都沢湿地の攪乱・保全管理についてはセブン-イレブン記念財団環境市民助成で対応しているが、資金や体制など、現行のままでよいのか。

③大山上池・下池の水質改善に関する水抜き作業については、本質は水位の調整であり、調整の結果、生態系に与える影響がどの程度なのか、外来生物の状況等がわかるものである。関係機関と具体的に検討・対策実施していく段階であると考えている。

④高館山散策路の管理について、管理の責任分離や責任の所在等を関係機関が協議し、将来どうするか検討するべきであると庄内自然博物館構想推進協議会の運営委員会で話が出ている。協力してほしい。

○（事務局）高館山を訪れる観光客は、平成30年は酒田・山形・秋田・仙台からが多くみられたが、平成31年度に入ってから関東からも観光客が訪れている状況である。

3月中旬～4月は1日あたり3～4件程度、ほとりに電話問合せがある。先日ボランティア1名がごみ拾いした結果、2袋（もやすごみ茶色）収集できたとのこと。

また現在、公式に配布されているコースマップがない。問合せも多く、過去にあったものを印刷しほとりに配布対応している。

○（事務局）ほとりに開館10周年記念事業については検討していく。

ほとりの来館者が今年7月に20万人に到達する予定なので、対応を検討していく。

学芸員の任用について、現在の身分は地方自治法に基づく鶴岡市特別非常勤職員であるが、令和2年度（2020年度）から施行される改正された地方自治法では同様の任用ができなくなる。学芸員は環境行政を推進するために必要不可欠であり、知識、技能、経験が求められる。今年度関係者と協議し、対応方針を本協議会に報告、または必要に応じて協議させていただく。

4. 閉 会

…閉会…